

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド  
実績報告書(事業助成用)

平成18年 10月20日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者  
三菱UFJ信託銀行株式会社 御中

住 所:〒 501 - 3811  
関市東本郷通り6丁目1番地5  
法人(団体)名:特定非営利活動法人  
キッズアカデミー 関園 印  
代表者名:理事 岩原 磯治

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成17年度(前期・後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

タイムケア事業

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
----------	-----------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	4,438	千円
実績額	4,438	千円
差し引き額	0	千円

4. 事業実施期間

平成17年10月1日 ~ 平成18年9月30日 ( 1年 0か月間)

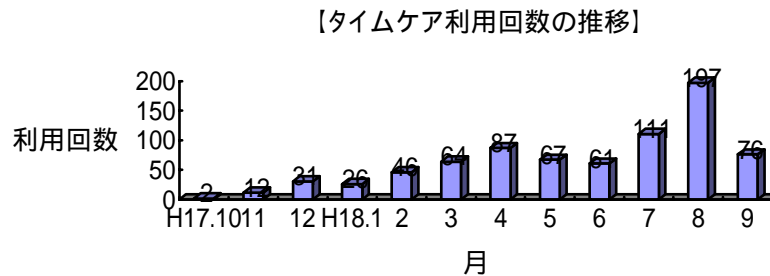
## 5. 実施した事業の実績・成果

### (1) 具体的な活動状況(実施日時、場所、対象者、参加者等)

キッズアカデミーせき園では、H17.10.~H18.9.の一年間、障害をもつ中学・高校生の放課後および土曜日・長期休暇期間の預かりを行う、タイムケア事業を実施した。国の規定に基づき、送迎費を含める¥1000/回の利用料にて夕方18時まで、日・祝を除く毎日実施した(土曜日のみ16時まで)。

音楽・スポーツ・マッサージ療法、クッキング、織物、映画鑑賞、English等、様々なカリキュラムを毎回取り入れ、子どもたちの可能性を広めるべく療育を行った。

(利用回数の推移は以下の通り)



当初の計画では、年間1,200名(回)の利用を見込んでいた。結果、年間780名(回)と、見込みには達しなかったが、利用回数の伸び幅は大きく、周知された事がニーズの拡大につながったと考えられる。

### (2) 活動の成果(開催行事の参加規模、目的の達成度、効果等)

障害のある生徒を放課後と土曜日に預かることにより、保護者の負担が軽減された。また、タイムケア活動を通して、新しい友達との交流ができるなど、子どもたちにとって、生活の一部になってきている。

一年間のタイムケア活動の実績が地域に認められ、10月改正の自立支援法に基づく地域生活支援事業の一環、日中一時支援の事業所として、近隣10市町より支援を受け活動を継続できることとなった。

### (3) 今後の課題

タイムケア事業は10月1日より新制度の下、地域生活支援の日中一時支援事業に組み込まれることとなった。これにより当園もタイムケアの1年間の実績が認められ、10市から日中一時支援事業の委託、指定または登録を受けた。

日中一時支援事業は当初予定されていたタイムケアよりも料金的な面で条件が悪く、経営が苦しくなった。自治体によって利用料にバラつきがあり、また、送迎の支援が無いなど、当園を利用しにくい市があるのも問題である。

当園としては、限られた予算内でいかに充実したサービスを提供するか、また、安心してご利用いただけるためにいかに送迎サービスを充実していくかが課題となっている。